**第65回日本組織細胞化学会学術集会 予稿集原稿のテンプレート**

〇赤城　榛名1, 坂東　太郎2, 妙義　次郎3

妙義大学大学院医学系研究科生体構造学1, 利根川大学附属病院病理部2, 赤城大学理学部生物学科3

この予稿集原稿はワ－プロソフトWordを使い、ページレイアウトはA4縦で設定しています。

上の余白は25 mm、下左右の余白は20 mmと設定しています。書式等の設定の変更をせずに次のページの例に倣って作成してください。

参考文献を記載しても構いません。

1演題で最大1ページ使えますが、余白が生じても問題ありません。

図表を挿入することもできますが著作権については注1の通りご留意ください。

予稿集はPDFでの配布のみで、紙媒体では配布しません。

必ず以下の点を遵守してください。

* タイトル、所属、氏名は上記のような配置で記載
* 発表者の氏名の前に〇
* タイトルは14ポイントのゴシック（ボールド）、氏名・所属は12ポイントの明朝体
* 本文中のテキストは11ポイントの明朝体（英数字も明朝体）
* 原稿はフォントを埋め込んだPDFで提出
* 1ファイルは5MB以下

**注1**：予稿集に掲載された原稿の著作権は日本組織細胞化学会に帰属します。

**注2**：提出していただくPDFファイルのファイル名は提出後に自動的に変換されますので特に指定しません。

**第65回日本組織細胞化学会学術集会 予稿集原稿のテンプレート**

〇赤城　榛名1, 坂東　太郎2, 妙義　次郎3

妙義大学大学院医学系研究科生体構造学1, 利根川大学附属病院病理部2, 赤城大学理学部生物学科3

（1行あける）

細胞膜の水チャネルであるアクアポリンは腎臓に多くのアイソフォームがみられる。なかでもアクアポリン2（AQP2）は・・・・。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

本研究ではAQP2の細胞内トラフィッキングについて明らかにするために・・・・・。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

免疫組織化学的解析では・・・・・。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

以上の結果から・・・・・・が明らかとなった。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

参考文献（必要に応じて）

1○○○○○

2○○○○○